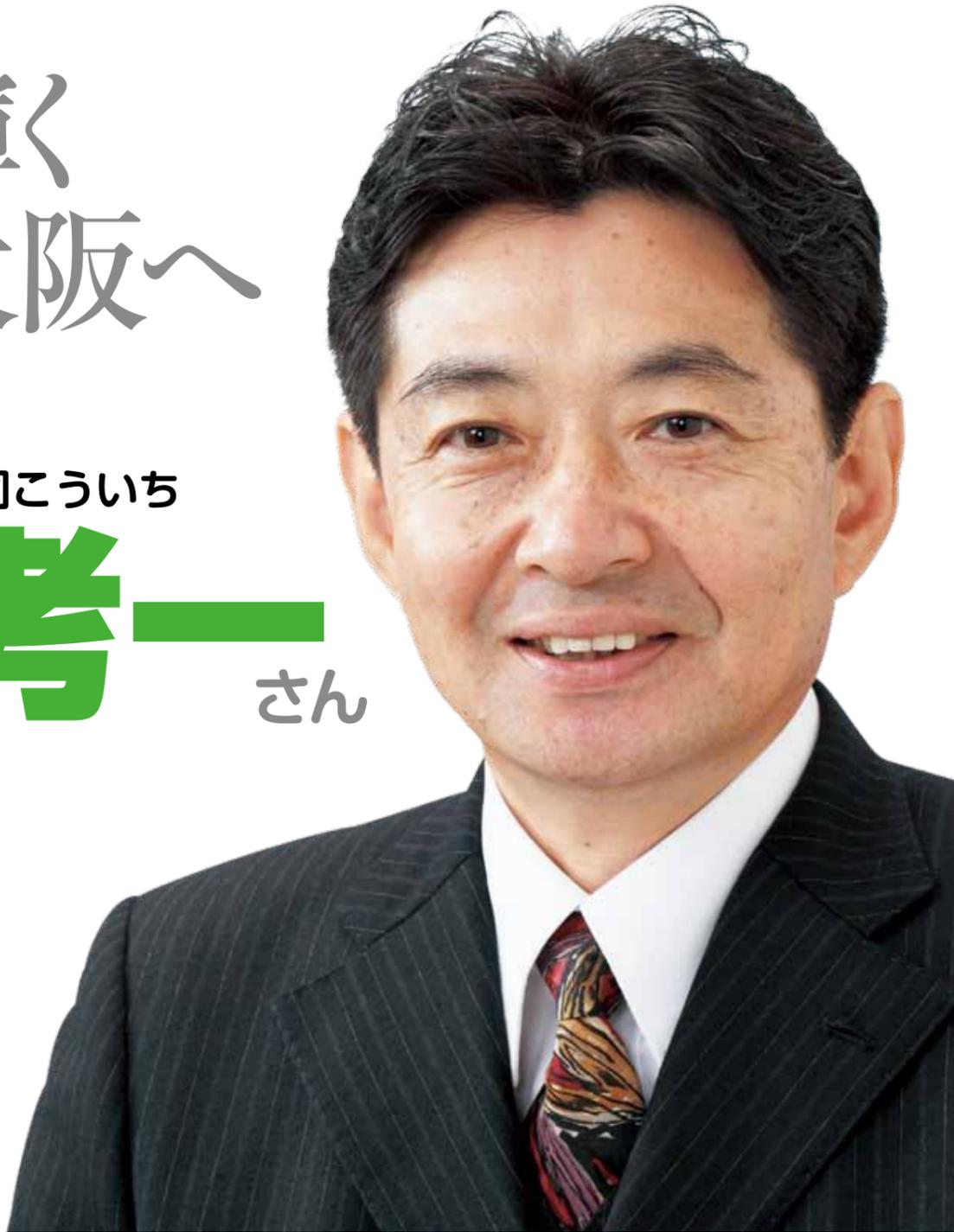


# 福祉が輝く 元気なまち大阪へ

大阪市長選へ出馬

渡司こういち

## わたし考一さん



### 福祉きりすて市政STOP 市民にやさしい市政を

大震災・原発事故を体験した多くの国民は、住民のいのちと暮らしを守れる自治体づくりを強く願っています。

今の市政も府政も、財界・大企業のための大型開発を強める成長戦略や、そのために関西州をめざすという点で立つ位置は同じです。住民の暮らし、福祉、教育の施策はどんどん縮小され、ムダな大型開発の破たんによる赤字のツケを府民・市民におしつけています。

大阪市を解体し、財源と権限を再びムダな開発につぎ込もうとする動きと対決し、市民の暮らし・福祉を応援する市政へ、高齢化する社会での交通権の確立をめざし公共交通の整備・充実、原発からの期限を決めた撤退、自然エネルギーへの転換をめざし、福祉・防災の先進都市大阪をめざします。



いっしょにつくりまします  
安心・安全の大阪のまち

府知事選出馬の梅田章二さん

大阪市長選出馬のわたし考一さん

## だれもが安心の福祉は 公的責任で

### わたし考一の 5つのプラン

#### 1 子どもの人権、発達を保障する施策をすすめます

保育所では詰め込み保育がすすみ、お昼寝の時間には布団を敷くと足の踏み場もないところも少なくありません。保育所を増設し、入所待機児童をゼロにします。また、子育て環境を整えることに力を入れ、相談センターの人員を増やすなど対策をとり、児童虐待の根絶をめざします。



#### 2 特養老人ホームを建設、高すぎる介護保険料を引き下げます

特別養護老人ホームを利用するにあたり、待機者が多い現状です。施設建設をすすめ、安心して暮らすことのできる大阪市をめざします。また、高すぎる国民健康保険料・介護保険料を引き下げ、生活困難者への減免制度を拡充します。

#### 3 障害者・障害児の施策を抜本的に拡充します

障害者自立支援法で、利用者は大幅な負担増や利用制限をうけています。重度障害者医療費助成制度の対象拡大、グループホーム・ケアホームの運営を支援するための加算制度を設けるなど、障害者・障害児の施策を抜本的に拡充します。

#### 4 安心・安全な福祉の実現に向け、職員を増やします

低賃金、長時間過密労働、非正規職員の増加などで福祉に働く職員が流動化しています。子ども・お年寄り・障害者（児）など利用者に関わるのは、福祉職員です。安心・安全な福祉を実現するために、福祉現場に働く職員を増やしていきます。

#### 5 災害に強い安心・安全の大阪市をめざします

大阪の地震や津波によるこれまでの被害想定を見直し、防災計画を市民・専門家とともに策定し、災害に強い安心・安全の大阪市をめざしていきます。耐震化率が50%にとどまる市立高校校舎の耐震化や耐震防潮堤の整備、福祉関連施設の耐震化をすすめています。



# 福祉を 守り、良くする 市政を

## 市民の願い実現へ

私たちの願いは、大阪都構想や大型開発の推進ではなく、福祉・医療・教育の充実や経済が活性化し、安心して暮らすことができる大阪市になることです。地方自治体の本来の役割として、大阪市は国の悪政から市民を守るための防波堤となることが求められています。



### 特養老人ホームを 増設して待機者解消を

福祉保育労大阪地本 城東老人ホーム班 介護員  
**四ツ谷 雅之**さん

特別養護老人ホームへ入りたくても入れない入所待機者が沢山います。家庭には老々介護で疲れ果てた高齢者が沢山います。介護保険料を払いながら介護保険のサービスを受けられないのは行政の不作为による詐欺的行為といわざるを得ません。待機者解消のための特別養護老人ホームの増設を望みます。また、利用者が利用したときに利用できるような公的援助を推進し、介護サービスの充実をはかることを望みます。



### 増える乳幼児虐待 職員増やして手厚い養護を

すみれ乳児院 保育士 **高部 千秋**さん

新聞やテレビで痛ましい乳幼児虐待の報道が後を絶ちませんが、乳児院でも、虐待を受けた子どもや乳児疲れのために子どもに手を上げてしまいそうとお母さんからのSOSで、緊急入所になるケースが非常に増えてきています。深夜に警察から直接連絡を受け、泣き叫ぶ子どもを保護することもあり、事態はとても深刻です。子どもたちの心や体の傷を癒すためには、1対1での関わりが欠かせません。大阪市の独自加算で早急な職員の加配が必要です。



### 安心な保育環境と 認可保育所づくりを

どろんこ保育園 保育士 **竹元 桃子**さん

待機児童数削減の為、定員数を超えた児童を詰め込んでいる現状です。保育室が狭いため、寝食を同じスペースでせざるを得ない状況で午睡時には押し入れの下やわずかなスペースも使用し、パズルのように布団を敷きつめている状態です。保護者の方と離れて過ごす時間が長い子ども達にとって安心できる場でありたいと思います。大阪市は少子化対策というのなら安心して育てていける環境、より多くの認可保育所を作り、将来を担う子ども達の保育に力をいれてほしいです。



### 地域生活支援事業の 存続・充実を

福祉保育労大阪地本  
大阪市社会福祉協議会分会 **大石 康子**さん

大阪市は認知症・知的・精神障害などで契約による介護サービス利用支援が困難な方々への個別支援や、地域住民からの相談支援活動等を行う「地域生活支援事業」を廃止し、別事業に統合しようとしています。大阪市は大阪市社会福祉協議会にこの事業を委託してきましたが、地域包括支援センターにて役割を担うことを検討すると説明しています。制度の狭間で支援が困難な方々も地域で安心して暮らしていけるよう地域福祉活動としての拡充が必要です。

### 障害者のグループホーム、 ケアホームに独自加算を

きょうされん大阪支部  
大阪市内ブロック長 **並川 一明**さん

国の単価に上乗せしていたグループホーム・ケアホームへの大阪市の独自加算が2010年4月について廃止になりました。ホームの利用者は障害者年金だけの収入しかない人がほとんどです。

市内で運営すると家賃が高いことや土地の値段の状況を考えると利用者は利用料(部屋代、水光熱費、食費)を払うと年金はほとんど手元に残らなくなってしまいます。10月から入居者に1万円の国の補助金がつきましたが、ホームで暮らす障害者の生活がもっと豊かになるために大阪市による独自の加算が必要です。

### 平松市政が切り捨てた市民サービス

廃止または改悪された事業	必要な予算額	影響・人数など
学校維持運営費(削減)	12億5700万円	公立の全ての小中学校
就学援助予算(削減)	2年で2億8100万円	学用品費・通学用品費引下げ、認定事務「厳格」化等
難病患者見舞金(廃止)	1億1246万円	9000人
高齢者福祉電話(有料化)	5419万円	6001件
児童いきいき放課後事業(削減)	4300万円	8万2000人の保険料500円補助を廃止
夜間中学夜食給食(廃止)	976万円	548人

平松市政になって4年間。2007年～2010年の間で24ヵ所の公立保育所が民間委託され、国民健康保険料の滞納者へ強引に財産調査・差し押さえを強行するなど、市民に冷たい市政運営をしてきました。今後も福祉施策の見直しがあがっており、現市長に市政を任せるとはできません。

## ムダな大規模 開発やめて 福祉拡充を

今後、見直しの対象となっている福祉事業

見直し対象事業	平成22年度予算
重度障害者医療費助成	39億2900万円
子育て活動支援事業	6億6300万円
障害者小規模作業所等の運営助成等	6億3900万円
老人福祉センター管理運営	5億7700万円
民間保育所運営改善	3億600万円

### 「都構想」では福祉が後退

「大阪維新の会」がねらう大阪都構想は、大阪市を解体して権限と財産を吸い上げ、その財源をもとに、高速道路や港湾開発などを推進するための計画です。この間、大阪府では福祉関連予算が大幅に削られた一方、117億円もの税金をつぎ込みながら府庁全面移転を断念せざるを得なくなった旧WTCビル購入・改修費など、私たちの大切な税金がムダに使われてきました。大阪都構想が実現すれば、福祉・医療・教育はますます削られることになります。